

北海道静内農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 PartⅡ）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和 6 年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
Ⅰ グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度を推奨し、農業教育の質の向上を図る。 (2) 教科内プロジェクト学習を推進し、プロジェクト学習法の確実な定着とプレゼンテーション能力の向上を図る。	(1) プラチナに3名、ゴールドに3名、シルバーに14名を合格させることができた。 (2) 三年次課題研究にて一人一プロジェクト発表を実施できた。	(1) 選奨生徒の増加につながるよう指導方法の改善と充実を図る必要がある。 (2) 次年度も継続するとともに、個別の研究活動が深まるよう指導する必要がある。	5
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) ASIAGAP認証を受けた生産管理工程の学習を継続し、グローバルな視点から農業生産を分析する能力を高める。 (2) 海外の学校や生徒との交流を実現し、世界の中での日本や北海道について生徒が考える機会を創出する。C89	(1) 関係機関の指導を受け認証を維持できた。 (2) 韓国やフランスの農業高校の教員を受け入れ、グローバルな視点で農業を考える機会を創出できた。	(1) 認証を継続するとともに工程管理の学習の充実を図る必要がある。 (2) 外国語科との連携充実を図り、生徒の海外派遣について積極的に応募する必要がある。	4
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 静農コンソーシアム事業をととして高度な専門性や実践力を養う学習を推進する。 (2) 環境に優しい持続可能な農業技術について実証的な取組と普及を行う。	(1) 関係諸団体、企業と連携し事業を発足、実践できた。 (2) バイオ炭を活用した栽培実証実験を町とJA、普及センターと共同実施を継続できた。	(1) 指導がより効果的になるよう事前、事後学習を充実させる必要がある。 (2) 連携を継続するため、データの情報を共有する機会を増やす必要がある。	4
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 静農コンソーシアム事業をととして高度な専門性や実践力を養う学習を推進する。 (2) 栽培・飼育・加工・販売・活用の学習をととして6次産業化に対応した人材を育てる。	(1) 関係諸団体、企業と連携を継続することで高度な専門性を養うことができた。 (2) 農場内での連携によりフードシステムの学習を推進できた。	(1) これまでの関係性と教育内容を精査し、発展につながるよう取り組みを進める必要がある。 (2) 消費者に選ばれる農産物及び加工品の生産を一層強化する必要がある。	4
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 本校に隣接する二十間道路桜並木をととして環境保全について考え、地球環境を守る人材を育てる。 (2) カーボンニュートラルについて生徒が考え取り組む学習をととして地球環境を守り想像する教育を行う。	(1) 桜並木の清掃ボランティアを継続できた。 (2) カーボンファーマーミングについて外部への普及活動ができた。	(1) 地域資源の概要について更に広く生徒に学習させる必要がある。 (2) 地域資源を活用したバイオ炭の製造研究を推進する必要がある。	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 食品科学科において学校設定科目「商品開発Ⅰ」「商品開発Ⅱ」をととして地域の特産品開発に取り組む。 (2) 農業の各科目において基幹産業、観光資源を活用した学習を展開し、地域の活性化に寄与する人材を育成を図る。	(1) 新ひだか町及び新ひだか町の商工業者と連携した商品開発を実施できた。 (2) 農業生物を扱う科目で地域との交流を実施することができた。	(1) 新商品を地域事業者が生産できるよう活動を検討する必要がある。 (2) 町や振興局と連携することで地域交流を更に推進する必要がある。	4
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを活用した農業生物の栽培、飼育に関する学習に取り組み、成果を地域に発信するよう努める。 (2) パソコンやスマートフォンなどのICTデバイスやオンラインアンケートフォームを授業に活用するよう努める。	(1) 各種デバイスを活用しICTを活用した研究を行うことができた。 (2) 授業のアンケートや教材の配布などICTを活用した授業改善に取り組むことができた。	(1) 栽培、飼育に関するデータの集約と整理の指導方法を改善する必要がある。 (2) 事前、事後学習の充実を図るためのデジタルコンテンツを整備する必要がある。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	胆振東部地震等を教訓に防災意識を常に持ち、自助、共助、公助連携し、『命を守る』意識を高める。	津波を想定した一日防災学校を新ひだか町と連携して実施することができた。	防災意識を常に持たせるためにも、防災避難訓練の意義や効果的な方法などを模索し、防災教育をより充実したものにする必要がある。	4